



令和5年度

埼玉ロボネット会員対象

参加無料

埼玉ロボネット分野別研究会

第1回未参加の方の参加も大歓迎!

農業編 第2回



埼玉県は、圏央鶴ヶ島IC周辺に「社会的課題解決に資するロボット」の開発を支援する「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」を令和8年度開所に向けて整備しています。

ロボティクスセンターの開所に先駆け、7月に設立した「埼玉県ロボティクスネットワーク(略称:埼玉ロボネット)」会員を対象とし、農業分野のロボット開発や社会実装を支援する研究会を開催します。

本研究会では、農業ロボットに関する先進事例発表や課題・今後の展開をテーマとしたワークショップを実施するほか、プロジェクトの創出を見据えたマッチング支援も実施します。



埼玉ロボネット分野別研究会 (農業編)について

「埼玉ロボネット」とは
SAITAMAロボティクスセンター(仮称)の開所に先駆け、ロボット開発に関わる多様な主体が協働してロボット開発や社会実装を促進するために埼玉県が設立した組織です。

第1回研究会
(8月24日開催)
事例紹介

ワークショップでの
事例発表者との取り組み
掘下げ・意見交換

名刺交換
・
交流会

ファシリテータによる
フォローアップ及び
マッチング支援

第2回研究会(12月8日開催)
取り組みの更なる掘下げ

プロジェクト創出及び併走支援

プロジェクトコーディネーター

株式会社MOGITATe 代表取締役社長
NPO法人ロボットビジネス支援機構(RobiZy)
創設者兼特別顧問



北河 博康 氏

【略歴】

三井住友海上の本社部門で様々な施策を企画・開発し、国や地方公共団体等と連携して、ロボット技術を活用した地方創生事業などを展開、ロボットビジネスを推進するNPO法人(RobiZy)を設立。2021年4月に独立起業し、「ロボットDXビジネス」を活用した地域活性化を目指し、スマート農業など連携事業を国内外で展開する。

ワークショップファシリテータ・

フォローアップ担当

NPO法人ロボットビジネス支援機構(RobiZy)
プロジェクトプロモーションオフィサー
NPO法人モノづくり応援隊in大田区
理事・事務局長



村上 出 氏

【略歴】

中小企業・小規模事業者の業務改善や労働環境の整備など、経営全般を伴走型で支援。地域産業振興政策をサポート。RobiZy会員を中心に、サービスロボットの普及・事業化を支援。

開催形式

集合開催と動画オンデマンド配信
※講演動画を令和5年12月15日から
令和6年1月5日までオンデマンド配信します。

会場

新都心ビジネス交流プラザ4階会議室
(さいたま市中央区上落合2-3-2)
JR北与野駅前
JRさいたま新都心駅 徒歩8分

対象

埼玉ロボネットに入会済みのロボット開発
関連企業、農業関係事業者等

申込

以下URLまたは右のQRコードから
埼玉県ホームページにアクセスいただき、
申込フォームに移動してお申込みください。
※埼玉ロボネットに未入会の方は入会登録をお願いします。
入会方法は申込フォーム内でご確認ください。
https://www.pref.saitama.lg.jp/robotics/seminar/info/robonet-k_20231208.html



QRコードは勝デンソーウェブの登録商標です。

定員

会場参加50名



埼玉ロボネット分野別研究会

農業編 第2回

タイムテーブル

今後の研究会活動計画について



第1回研究会のワークショップ等で議論された課題や提案をご紹介します、今後の研究会参加者によるコンソーシアム組成ならびに中期的な構想を共有します。

- 「埼玉リモート農業プロジェクト(リモ農PT)」構想
- 「埼玉版次世代枝豆選別機」構想
- 「土壌改質の省力化・自動化」構想 等



NPO法人ロボットビジネス支援機構(RobiZy) プロジェクトプロモーションオフィサー
NPO法人モノづくり応援隊in大田区 理事・事務局長

村上出氏

13:00
13:20

事例1 「埼玉リモート農業プロジェクト(リモ農PT)」構想とは？



農業関係者がPC画面を眺めながら、移動ロボットをコントローラーで遠隔操作し、安価で高性能なカメラモジュールによる病害虫の早期発見、防除、運搬等の農作業を補助するリモート農業プロジェクトの構想を提案します。障がい者等の就労機会を創出する「農福連携スキーム」の可能性も探ります。ワークショップでは、具体的なスキームや課題等を検討します。



株式会社MOGITATE 代表取締役社長
NPO法人ロボットビジネス支援機構(RobiZy)創設者兼特別顧問

北河博康氏

13:20
14:00

事例2 埼玉版次世代枝豆選別機の構想と普及に向けたアイデア



昨今の国内のみならず、国外での枝豆ブームに応えるためには、生産のネックになっている選別の効率化が必要です。選別機は高価なものが多く、低価格、普及に耐えうる製品を目指すために配慮すべき設計のポイントを提議します。ワークショップでは、実現場における課題や普及にあたってのコスト面の課題等を検討します。



国立大学法人 山形大学 アグリフードシステム先端研究センター プロジェクト教員(助教)

市浦茂氏

14:10
14:50

埼玉県スマート農業普及推進プラットフォームの取組について



埼玉県 農林部 農業支援課

14:50
15:00

ワークショップ 本日紹介のビジネス・事例への関わりの可能性検討

ワークショップでは、参加者の皆様にグループに分かれていただき、ファシリテータの進行のもと、発表内容のコンソーシアムへの参画等について検討頂きます。今後のフォローアップも行いますので、積極的にご参加ください。

ワークショップでは、自社の技術を様式1枚にまとめた「ロボット関連技術PRカード」で自己紹介をしていただき、情報交換、ビジネス検討を行っていただきます。今後のビジネスマッチングにも使用しますので、可能な限り事前に作成をお願いします。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/robotics/database/prcard.html>



株式会社MOGITATE 代表取締役社長
NPO法人ロボットビジネス支援機構(RobiZy)創設者兼特別顧問

プロジェクトコーディネータ
北河博康氏

NPO法人ロボットビジネス支援機構のコーディネーターがファシリテートを実施します。

ファシリテータ
村上出氏

15:00
16:00

名刺交換会・交流会

16:00
16:30



埼玉県マスコット
『コバトン&さいたまっち』